

さかえ

第5号

つながる

通信

<編集・発行年月日>

平成24年3月20日

栄区役所福祉保健課

栄区社会福祉協議会

必要な人に必要な情報を届けるために！

栄区地域福祉保健計画「さかえ・つながるプラン」では、7つの基本方針が立てられています。この基本方針ごとに、『地域』『区役所』『区社会福祉協議会』『地域ケアプラザ』の取り組みが掲載されています。

今回のつながる通信では、7つの基本方針のうち『基本方針2 情報の受発信』に注目し、地域の色々な活動の中で工夫されていることをご紹介します。



現代は『情報社会』と言われ、いろいろな情報を目にする機会があり、かえって必要な人に必要な情報が伝わりにくいという状況が生まれています。

情報を伝え合い、必要な人に確実に情報が届くことは、安心して地域の中で暮らせることにつながり、地域福祉保健計画の推進のポイントにもなります。

情報を届ける側、受ける側、それぞれにどのような工夫が大切になるでしょうか。

＝ 地域で活動されている皆さんから
意見を伺いました。＝

必要な情報が一目でわかるように、見だしの工夫やわかりやすい言葉遣いを大切にしています。

クチコミは大事。
必要な情報が届きにくい人もいますので、周りの人が直接伝えることも大切です。



回覧や掲示板など、受け手に届きやすいような方法を使い分けて発信しています。



一口に『情報』といっても、私たちの身近な地域の情報は、どのような方法でみなさんのもとに届いているのでしょうか？

そこで、実際に地域で活動されている方々が、どのような方法で、どのような工夫をされているかを伺いましたので、ご紹介します。

第2期地域福祉保健計画は、誰もが身近な地域で安心して暮らせるまちをつくるために、区役所と区社会福祉協議会が連携し、関係機関の方々と検討を重ねて策定しました。平成22年度から27年度までの6年間で取組を進めていきます。

身近な地域の情報は、どのような工夫をして届けられているのでしょうか …。

情報の受発信あれこれ

地域で定期的に情報を発信しているボランティアグループにお話を伺ってきたよ



質問内容

- ①情報はどのように発信していますか？
- ②情報を発信する時に工夫していることはありますか？

グループ桂台



グループ桂台さんは、桂台地域の高齢化が進む中で、生活の様々な場面でお手伝いをするシステム作りが必要となったため、1997年に発足しました。

乳幼児の保育、食事作り、買い物、病院の付添いといった高齢者・障害者のお手伝い等を行っています。

協力会員は90名、賛助会員（会の趣旨に賛同して応援して下さる方）が約100名、利用会員は約100名です。

①活動を始めた翌月から「グループ桂台通信」を毎月発行しています。A3サイズ、二つ折りです。今年で15年目になります。近隣の有料老人ホーム情報、連載コラム（医師や消費生活相談員からのアドバイス）、イベントのお知らせ・報告、活動実績、会員・利用者のコラムやミニエッセイなどを広報紙に載せています。

②持ち味は、福祉保健に特化した、読みやすく分かりやすい、正しい情報

対象者が必要としている情報や、知っておいた方がいいと思う情報を、ポイントを押さえて通信に載せています。

例えば講演会等は出席した会員からポイントを絞って報告をしています。老人ホーム情報も役員が電話番号や入居要件を確認してから載せています。

連載コラムの場合は、医師や消費生活相談員に執筆を依頼しているため、難しい言葉を分かりやすく書き直してもらったといった編集をしています。

また文字のフォントも12ptでそろえて読みやすくしています。

顔をつなげる手渡しの広報紙

湘南桂台自治会と桂台自治会で班回覧を依頼しているほか、協力・利用・賛助会員ともに各戸配付しています。通信の反応をいただいたり、次のエッセイの執筆相談をしたり、交流の手段の一つになっています。

編集する人、印刷する人、仕分けする人、配布する人、とみんなで分担して行っているそうです。

一人ひとりの負担を減らして分担することは、継続して情報発信のポイントですね！



特定非営利活動法人 積み木



積み木さんは高齢者や障害のある方等への配食サービスを中心とした支援ボランティアグループです。

配食や会食を行うほか、「友遊ひろば積み木」ではサロンや趣味講座といった交流活動など様々な活動を行っています！配食サービスの利用者は約120名、協力会員は約200名以上です。友遊ひろばの協力会員は30名弱です。

①「積み木」が活動を開始して3ヶ月後の1995年から、毎月「積み木通信」の発行を続けています。A3サイズ、二つ折りです。この3月で206号になりました。

活動のお知らせ・報告、季節に合わせた情報（6月の食中毒予防や1月には初詣スポット特集なども！）や福祉情報、利用者や会員の紹介、会員によるエッセイ、お弁当のメニュー、「友遊ひろば積み木」の一カ月の予定表、アンケート調査・結果報告などを載せています。

また3カ月に一回、お弁当についてのアンケートを実施しています。

お弁当を調理する人にも、利用者からの声を届ける大事なシステムの一つです。



②伝えたいことは積み木の「ミッション（活動）」と「今」です。

利用者にも配付している通信ですが、会員に向けた情報紙でもあることを意識しています。

積み木通信は報告をするだけでなく、会員と会員をつなぐ道具です。会員各々が「積み木」の意義やよさを確認し、新たな力を蓄えられるような紙面作りを目指しています。

記事作りの工夫としては、1ページ目は読んでもらえるように親しみやすいものにしたり、その時の時事ネタや、地域の課題をトピックスにしたりしています。

手渡しでの配付とポスティング

会員には手渡し、利用者にはお弁当と一緒に手渡ししています。また、「友遊ひろば積み木」の月間チラシは、活動地域である本郷台自治会、富士見台自治会に回覧している他、飯島町内会、小菅ケ谷町内会の一部でも地域ごと年に2回ずつ位の頻度で順番にポスティングも行っています。

コラム インターネットでの広報

インターネットも、近頃の情報の受発信に関して、大切な道具となってきました。ではインターネットの情報の受発信にはどのような特徴があるのでしょうか？

長所 素早く受発信できる。

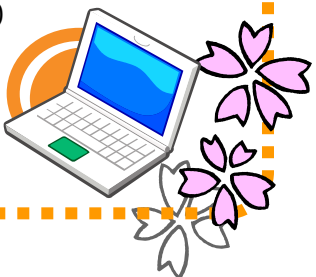
広い範囲の情報を受発信できる。

短所 受け手が積極的に探す必要がある。パソコン・インターネットの設備や扱う技術が必要になる。

積み木さんもグループ桂台さんも、インターネットで活動内容を公開しています。ホームページを見て、連絡を受けた場合のほとんどは「紙媒体での広報をしていない地域（他の区・遠い地域）から」や若い世代からだったということです。

情報の発信をする場合、媒体や道具を変えることで、受信する対象が広くなったり、今までとは違う場所からの反応が得られたりするようです。

情報の受発信は地域での交流の大切な第一歩になります。



ようこそ！！栄区社協のホームページへ

栄区社会福祉協議会では、昨年8月に、ホームページをリニューアルしました。

リニューアルしたホームページでは、地域のタイムリーな情報を、区民のみなさんにお届けできるように、次のような取組みを始めました！

① 『地区社協ニュース』コーナーの設置

各地区で行われているイベントや研修会などの開催案内や実施報告などを掲載しています。イベント時の写真などを掲載することで、会場の様子や当日の雰囲気伝わってくるようなコーナーになっています。

② 地区社協の広報紙（最新号）の掲載

栄区内には、7つの地区社協があり、それぞれが年に2～4回のペースで広報紙を発行しています。各地区社協の活動報告や行事のお知らせなど、各地区で工夫をこらした紙面づくりを行っています。

そのほかにも、次のような内容を掲載中です！

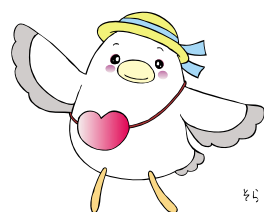
- ・栄区社協が行っている、各種事業の紹介
- ・栄区福祉保健活動拠点（ピアハッピー栄）の利用案内
- ・栄区社協が発行している情報紙（「さかえ区社協だより」、ボランティア情報紙「そら」など）のバックナンバー など

☆ホームページへのアクセスは、こちらから

↓↓

栄区社協ホームページアドレス

<http://www.sakaeku-shakyo.jp/>



ピアハッピー栄
（栄区福祉保健活動拠点）
マスコットキャラクター
そらちゃん

第2期 栄区地域福祉保健計画の冊子（本冊子、概要版、地区別計画リーフレット）は、事業企画担当（区役所新館3階304番窓口）のほか、栄区社会福祉協議会、区内地域ケアプラザなどで配布しています。

本冊子は区役所ホームページからもご覧いただけます。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/sakae/guide/fukushi/2chifuku.html>

音声訳ボランティアの会 COSMOS の協力により、音声訳版を作成しました。

栄区社会福祉協議会へお問い合わせください。

～さかえつながる通信についてのお問合せは～

栄区役所福祉保健課事業企画担当

電話：894-6962

Fax：895-1759

横浜市栄区社会福祉協議会

電話：894-8521

Fax：892-8974